

スプレーかん等は穴を開けて

殺虫剤などのスプレーかんや卓上コンロのカセットガスボンベを捨てられる場合、中身が残っていると、処理施設での火災の原因になり、たいへん危険です。

これらのものを捨てる場合は、使い切ってから、かんに穴を開けて粗大ごみとして持ち込むか、はがきによる申し込みをしてください。持ち込みが出来ない場合は、収集依頼を専用はがきで申し込みしてください。



収集できないごみは、啓発シールを貼っています

集積場所に出されたごみで、分別がされていないものは、啓発シールを貼って残します。シールのチェック項目を確認し、正しく分別し直して次回の収集日に出してください。

収集物以外のものが出されている場合も同様に啓発シールを貼って残します。ごみカレンダーで確認して該当するごみを出してください。

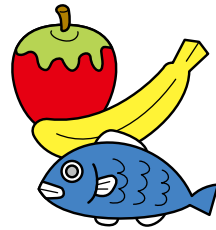


生ごみ等の水切り

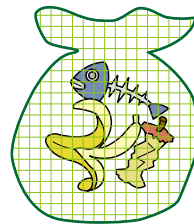
夏季の燃やせるごみは水気が多くなる傾向があります。水気の多いごみには、水切りが不十分な生ごみや乾燥されていない草木等があります。

生ごみは水分を十分に切り、草木等はよく乾燥させてから出していただくことによって燃やせるごみを減らすことができます。

1 生ごみができたら



2 水切りネットに入れて



3 よ〜くしぼって
水分を切ってから



4 燃やせるごみに
出しましょう

